

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	24-032	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Impact of metabolic phenotype and alcohol consumption on mortality risk in metabolic dysfunction-associated fatty liver disease: a population-based cohort study 代謝表現型とアルコール消費が代謝障害関連脂肪性肝疾患における死亡リスクに与える影響: 集団ベースのコホート研究		
<b>執筆者</b>		
Charatcharoenwitthaya P, Karaketklang K, Aekplakorn W.		
<b>掲載誌</b>		
Sci Rep. 2024 Jun 3;14(1):12663. doi: 10.1038/s41598-024-63453-6.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール摂取、MAFLD、代謝表現型、死亡率、2型糖尿病		38830939
<b>要旨</b>		
<b>背景:</b> 代謝異常に関連する脂肪性肝疾患 (MAFLD) 患者は、代謝異常とアルコール摂取を併発することが多い。MAFLD は 3 つの異なるサブタイプ (2 型糖尿病表現型、過体重/肥満表現型、痩せ型代謝表現型) に分類されている。各 MAFLD サブタイプやアルコールの摂取量によって異なる臨床転帰を明確にするためには、さらなる研究が必要である。		
<b>方法:</b> タイ国民健康調査 (Thai National Health Examination Survey) から収集された MAFLD 患者 8304 人のデータを、死亡記録とリンクさせて解析した。MAFLD 基準によると、1432 人 (17.2%) が糖尿病表現型、5894 人 (71.0%) が過体重/肥満表現型、978 人 (11.8%) が痩せ型代謝表現型に分類された。統計解析は、Cox 比例ハザードモデルと制限付きスプライン回帰により、平均 1 日アルコール消費量と全死亡率の関係を検討した。		
<b>結果:</b> 71,145 人年の追跡期間中 916 人が死亡し、死亡率は 1000 人年あたり 12.88 だった。Cox 比例ハザードモデルを使用し、年齢、性別、教育歴、ライフスタイル、併存疾患を調整した結果、糖尿病 (調整ハザード比 [aHR] 1.59、95%CI 1.18-2.13) および痩せ型代謝表現型 (aHR 1.28、95%CI 1.01-1.64) の両者とも、過体重/肥満表現型と比較して有意に高い死亡リスクを示した。1 日のアルコール摂取量と全死亡リスクの間には J 字型の関係が観察された。毎日のアルコール摂取量に基づいて各代謝表現型の死亡リスクの層別解析では、1 日のアルコール摂取量が女性で 50g、男性で 60g を超えると、痩せ型の代謝表現型を持つ MAFLD 患者では全死因死亡リスクが上昇した (aHR 3.39、95%CI 1.02-11.29)。		
<b>結論:</b> 本研究により、代謝表現型とアルコール摂取は MAFLD 患者の全死亡リスクに相互作用的な影響を及ぼすことが明らかとなり、両要因を評価することが予後の判断および管理戦略において重要であることを示唆した。		